

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (株式会社白糸ハイランドウェイ)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・「就業規則」の採用条件には、国籍・地域・性別・年齢・障害による差別条項の記載はない					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・「就業規則」および「職場におけるハラスメントの防止に関する規定」により、暴力やハラスメントを禁止している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・時間外勤務や労働日数、有給休暇取得状況について、毎月チェックしている								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・「就業規則」の採用条件には、国籍・地域・性別・年齢・障害による差別条項の記載はない・JICAに協力し、外国人研修生に対して研修の場を提供している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・親会社の労働安全衛生マネジメントに準拠し、各種業務マニュアルおよび業務のリスクアセスメント評価を作成・活用し、業務にあたり体感KY活動を実施している				3				8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			毎年ストレスチェックを一部に行っており全社員を目指す				3													
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・「就業規則」の採用条件には、国籍・地域・性別・年齢・障害による差別条項の記載はない					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・業務上必要な資格をリストアップし、取得推奨している（資格一覧）・月例会議において、各種業務マニュアルの改訂点や税制処置、タイムリーな通達等の教育を実施している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・「就業規則」において、同一労働同一賃金の原則に沿った賃金体系としている					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			協会けんぽに加入して『健康づくりチャレンジ宣言』へエントリー				3				8									
11	環 境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・業務(直営、外注)で排出する廃棄物は適正に処理している・パレット柵、イベント時の木工教室の材料に間伐材を使用している										11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			オフィス、管理作業のエネルギー使用量を環境報告書にて管理しており、削減目標を設定している(2020)							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			算定ツールにて温室効果ガス排出量を把握し削減計画を作成している(2020～2025)							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・有機溶剤等の有害化学物質使用の際は、製品安全データシートを取り寄せて管理している・禁煙運動を推進している				3.9		6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (異などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・ライトアップイベント等、生態系へ影響が考えられる事案については、事前に生態系調査を行っている						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・アスファルト廃材等は、再処理施設へ排出している・間伐材の再利用を行っている												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			自然水の有効活用を行っている						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・親会社のISO14001に準拠し指導を受けて、エネルギー使用量・温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・HPにて環境情報を公開する予定である												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・道路情報板の電源に太陽光を利用している							7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・料金所の水洗トイレは雨水、川水を再利用している												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・親会社の行動倫理要綱に従い、社内研修を行い社内浸透を図るとともに、懲戒規程を定め対処している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・親会社の独占禁止法遵守のための行動指針に従い、社内研修を行い社内浸透を図るとともに、懲戒規程を定め対処している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・親会社の行動倫理要綱により知的財産の尊重と保護を定めており、また発明等取扱規程を制定し社員に発明を奨励している。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			個人情報保護規程を制定し個人情報に対する基本方針を定め体制を整備している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・当社は紛争鉱物の対象企業ではなく、紛争地域との鉱物の直接的な取引はない																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ISO55001アセットマネジメントシステム（以下、AMSと記す）8.3に基づき、アウトソース先を管理・評価している→出展：AMSマニュアル5-1(3)、アウトソースマニュアル					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表を検討中			3					8	9	10							17

項目番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																									
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・ISO55001AMS4.1に基づき、組織目標を「利用客の安全・安心の提供」と設定し、目標達成のためのPDCAプロセスを確立している→出展：AMSマニュアル2-1				3.9								12.4							
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・ISO55001AMS4.1に基づき、組織目標を「利用客の安全・安心の提供」と設定し、目標達成のためのPDCAプロセスを確立している→出展：AMSマニュアル2-1								9											
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ISO55001AMS4.1に基づき、環境問題を含む内部・外部の課題を抽出し、課題解決のPDCAプロセスを確立している→出展：AMSマニュアル2-2						6						12	13	14	15				
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ISO55001AMS4.1に基づき、環境問題とインフラ老朽化問題を含む内部・外部の課題を抽出し、課題解決のPDCAプロセスを確立している→出展：AMSマニュアル2-2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
33	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・観光協会、商工会に加入し、地域振興のために協働している・住民優待デーを設けて地域に貢献している・軽井沢検定の奨励・ISO55001AMS4.2に基づき、ステークホルダーのニーズを捉え、業務PDCAプロセス								4			9		11	12		14	15	17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・地域のボランティア活動(除雪、清掃)に参加している・軽井沢エコツーリズム委員会に参画し、地域振興に取り組んでいる								4						11		14	15	17	
35	組織体制	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・観光資源として信濃路自然歩道を積極的にPRし、有効活用している								8	9			11	12	13					
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			・ISO55001AMS4.1に基づき、経営理念と組織目標を整合し、社内掲示で共有している→出展：AMSマニュアル3-1									8	9								17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・親会社の行動倫理要綱に従い、社内研修を行い社内浸透を図るとともに、懲戒規程を定め対処している。																		16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・親会社のISO14001に準拠し指導を受けて、総務部が環境影響評価を実施し対応している																		16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			・ISO55001AMS4.2に基づき、ステークホルダーのニーズを捉え、業務PDCAプロセスを確立している→出展：AMSマニュアル2-3・HPの問合せ窓口および、本社事務所の電話で意見・苦情を受け付け対処している																		16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・ISO55001AMS6.1に基づき、リスクアセスメントを実施し、業務PDCAプロセスを確立している→出展：AMSマニュアル4-3																			16
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ISO55001AMS4.1に基づき、社会貢献を内部・外部の課題およびステークホルダーのニーズと捉え、社会貢献のPDCAプロセスを確立している→出展：AMSマニュアル2-2、2-3																			16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・事業継続(BCP)マニュアルを策定している風雨等、噴火、感染症に対する対応計画を決めている											9			11		13 13.1			16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・ISO55001AMSに基づいて運用することで、施設の長寿命化を含む持続可能な道路運営を実施している									8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
我々は観光道路運営会社として、地域周辺環境へ調和しながら自然災害に対応する施設を運営する		ISO55001を取得（施設の計画的改修）			3. 6						9				13		15		
地域との共存と連携		地域からの雇用 軽井沢検定推奨夏-冬イベントの開催				4				8			11						
全ての人々へ対応した観光道路の整備		HPの他言語化、看板標識の他言語化				4						10							

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定